

二〇二四年度
【修士課程】

早稲田大学大学院文学研究科
専門科目 美術史学コース

入学試験問題
※解答は別紙

注意事項

- 1 問題冊子および解答用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 2 受験番号と氏名は、解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 3 問題冊子は1～7ページである。

共通問題

2ページ

※設問の指示に従って解答すること。

※解答用紙は「美術史学コース共通問題」（縦書）を使用すること。

資料読解

3～7ページ

※選択問題である。

※自身の専攻に応じて、日本、東洋（日本彫刻史を含む）、西洋のうちから
一科目選んで解答すること。

※解答用紙は「美術史学コース資料読解」（日本・東洋は縦書、西洋は横書）
を使用すること。

共通問題

左記の九問のうちから四問を選び、それぞれについて解答せよ。

ただし、【A】【B】【C】の各群より必ず一問は選ぶこと。※解答は別紙（縦書）

【A】日本

- (1) 当麻曼荼羅
- (2) 豊国祭礼図屏風
- (3) 写楽

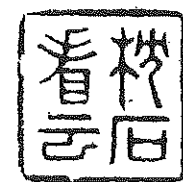
【B】東洋

- (4) 法華経に関する美術
- (5) 運慶
- (6) 唐招提寺木彫群

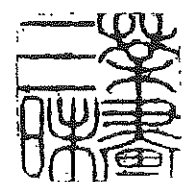
【C】西洋

- (7) 象徴主義
- (8) 静物画
- (9) 西欧初期中世美術

問(二) 次の篆書を楷書体に直しなさい。



①



②



③



④



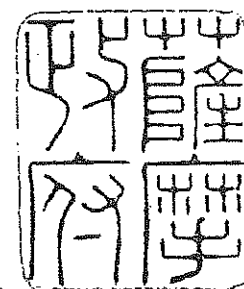
⑤



⑥



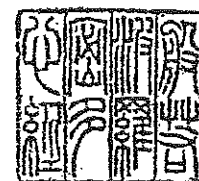
⑦



⑧



⑨



⑩

【東洋美術史】 資料読解（一）（二）とも解答すること。 ※解答は別紙（縦書）

（一） 左は『七大寺日記』の一節である。文章を読んで設問に答えなさい。

① 七大寺修行要事大略先^① 為普通人者是无益事等也 但可任人好也

一（一）（二）

大佛殿

中尊^③ 盧舍那佛 脇仕二軀 如意輪 虚空蔵

聖観音高六丈也

續佛二鋪内 不空羼索但甘臂^④ 不可思議像也

口傳云柱繪惠理僧都之筆也

四天王并柱繪等可見佛前左右 鏡臺二脚^②其中^ニ 左方ノ鏡臺上方^{ナル} 鏡^リ面廣三尺五寸許也其鏡海印三昧圖也
正面^{ヨリ} 東馬腦盤^{アリ} 四方各廣三尺五寸厚^サ 六寸^{アリ} 可見佛前^ニ 磬^{アリ} 打鳴^テ 可聞片方ノ鎖ノ穴ノ本^ニ 殊^ニ 響^リ
音^{アリ} 可聞未知其所以也又廣^キ 板ノ障子様^{ナルニ} 佛并日記^{アリ}可見^⑤ 西^⑥ 庇^ニ 六尺許金銅并形三軀立給^リ 可見^⑦
又厨子六合^{アリ}東西各三合高五尺許也扉^ノ 内^ニ 繪^リ可見世人傳云金岡筆^云 但開見事甚難有^云

問一 傍線①を、割注を含めてわかりやすく現代日本語に訳しなさい。

問二 （一）（二）に入る寺院名を記入しなさい。

問三 傍線③の仏像の制作年代と制作の経緯について知るところを述べなさい。

問四 傍線④で筆者が不可思議像と言う理由について説明しなさい。

問五 傍線⑤の佛并日記とはどのようなものか説明しなさい。

問六 傍線⑥を現代日本語に訳しなさい。

（二） 左は、唐の段成式『寺塔記』の道政坊宝應寺 韓幹。藍田人。少時常爲貰酒家送酒。王右丞兄弟未遇、每一貰酒漫遊。幹常徵債於王家、戲畫地

道政坊寶應寺 韓幹。藍田人。少時常爲貰酒家送酒。王右丞兄弟未遇、每一貰酒漫遊。幹常徵債於王家、戲畫地
爲人馬。右丞精思丹青。奇其意趣。乃歲與錢二萬、令學畫十餘年。今寺中釋梵天女、悉齊公妓小小等寫眞也。寺
有韓幹畫下生幀。彌勒衣紫袈裟、右邊仰面菩薩及二獅子、猶入神。

*貰……かけ売り・つけ買い（品物を先にやり取りして支払いを延ばすこと）

*王右丞……王維

問一 この文章に基づいて、韓幹について説明しなさい。

問二 下生幀の弥勒とは、どのような姿だったと推測できるか。現存する関係作例も踏まえて
述べなさい。

以下の3問より、1問を選んで答えなさい。

1. 次の英文を日本語に訳しなさい。

The artist and Dominican friar posthumously called Fra Angelico was known for most of his life as Fra Giovanni, the name he chose when he joined the convent of San Domenico in Fiesole. Not long after his death in 1455, he was praised as “the Angelic Painter,” elevating him to the status of the great Dominican theologian Thomas Aquinas, called the “Angelic Doctor.” His life and work have been celebrated for centuries, yet only recently has Fra Angelico’s fundamental importance in the development of European painting been fully appreciated. Paralleling the achievements of the slightly younger Masaccio, Fra Angelico pioneered many of the stylistic trends that distinguish the early Renaissance, including the rational treatment of pictorial space and the volumetric modeling of forms with light and shadow. At every stage of his career, in fact, Fra Angelico remained at the forefront of artistic innovation in Florence.

Masaccio’s groundbreaking use of mathematical perspective and his sculptural treatment of the human figure during the mid- and late 1420s powerfully affected Florentine art. Angelico adapted some of the younger painter’s innovations to refine his own advances toward the depiction of three-dimensional forms in logically constructed spatial settings.

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

Excerpted from “Fra Angelico (ca. 1395–1455)” by Ross Finocchio in the Heilbrunn Timeline of Art History online.
Published by The Metropolitan Museum of Art, New York. Copyright © 2006.
Available at https://www.metmuseum.org/toah/hd/fang/hd_fang.htm. Reprinted by permission.

2. 以下の仏文を日本語に訳しなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

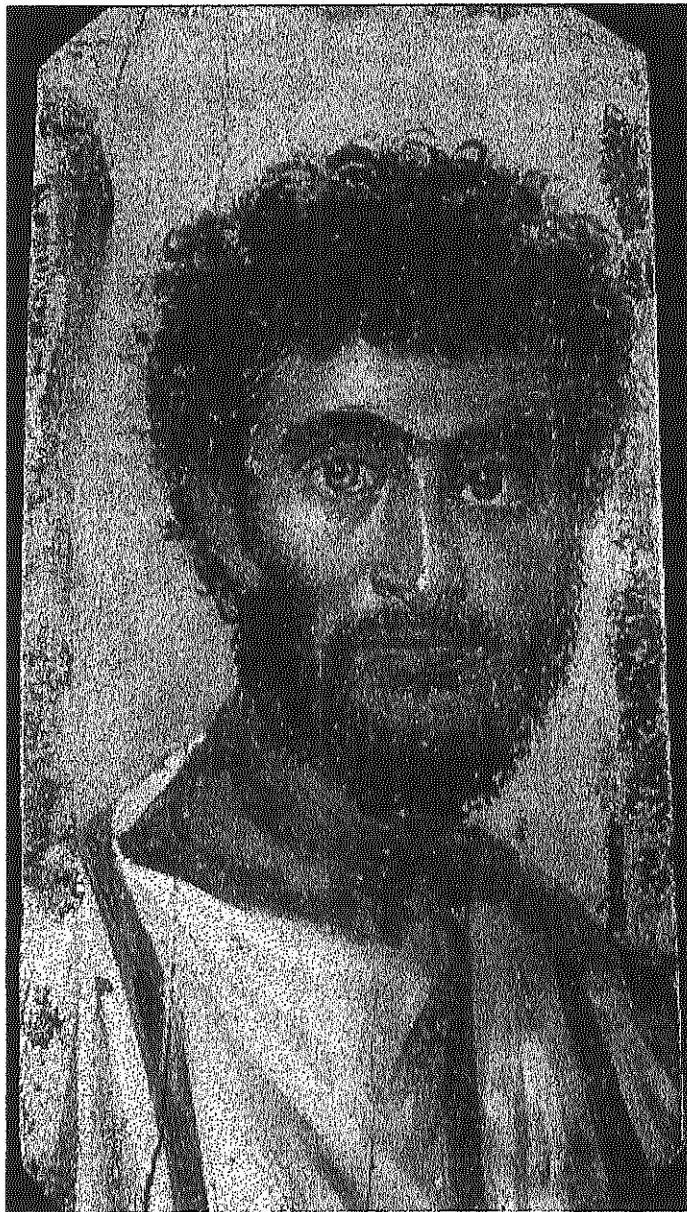
3. 以下の独文を日本語に訳しなさい。

«Bärtiger Mann mit Lockenfrisur»

Die Tafel mit der Büste eines bärtigen Mannes mit Lockenfrisur stammt aus der ägyptischen Oase Fayum und ist ein gutes Beispiel eines in Wachsmalerei auf Holz gearbeiteten Porträts mit deutlich individuellen Zügen. Der Maler hat die unterschiedliche Struktur der kurzen, drahtigen Barthaare und der weichen, das Gesicht umspielenden Locken gut herausgearbeitet. Die Hautpartien, Teile der Haare und der Bart wurden mit einem Modellierstäbchen überarbeitet. Die warme, ziemlich dunkle Farbgebung unterstreicht den freundlich-distanzierten Ausdruck des bärtigen Mannes, der in seinem Erscheinungsbild deutlich an Bildnisse des Kaisers Marc Aurel erinnert.

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

© Manuela Laubenberger,
KHM-Museumsverband



※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

KHM-Museumsverband

[illegible]

——ここから記入すること——

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。

漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

美術史学コース
共通問題

--

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

———ここから記入すること———

美術史学コース
資料読解
(日本・東洋)

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。

漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

専門科目 美術史学コース

西洋美術 資料読解

——ここから記入すること——

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(裏へ続く)